

「腹膜透析カテーテル出口部ケアにおける精製白糖・ポビドンヨード配合軟膏の有用性」に対するご協力のお願 い

研究代表(責任)者 山口 慎太郎
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 腎臓内分泌代謝内科学

教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2010年05月01日より2022年06月30日までの間に腹膜透析(PD)を開始し、その後、PDカテーテル出口部感染を発症した患者

2 研究課題名

承認番号 20231078

研究課題名 腹膜透析カテーテル出口部ケアにおける精製白糖・ポビドンヨード配合軟膏の有用性

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学病院

研究代表者

(職位)専任講師(氏名)山口 慎太郎

4 本研究の目的、方法

PD関連腹膜炎はもっとも注意が必要なPD合併症ですが、カテーテルの出口部感染はその代表的な原因の一つです。出口部感染は再発を繰り返し、治療に難渋する場合も少なくありませんが、未だ出口部ケアに関するコンセンサスは十分には得られておりません。

そこで、我々は精製白糖・ポビドンヨード配合軟膏(ユーパスタコーワ軟膏®)に注目しました。ユーパスタコーワ軟膏®は褥瘡や熱傷などの治療などに使用されることが多い軟膏ですが、殺菌作用だけでなく、創傷治癒促進作用や浸出液吸収作用を有しており、カテーテルの出口部ケアに有用である可能性がございます。

本研究では、電子カルテ上のデータを用いて、ユーパスタコーワ軟膏®のPDカテーテル出口部ケアにおける有効性を解析させていただきます。具体的には、出口部感染の再発、出口部感染関連手術の発生、出口部感染関連腹膜炎の発生、出口部感染の起因菌などを評価させていただきます。

5 協力をお願いする内容

当院にてPDカテーテルの出口部トンネル感染を発症した方のデータを使用し、ユーパスタコーワ軟膏®の有効性を評価するための解析を行わせていただきます。冒頭に述べました通り、新たなサンプルの取得は一切ございません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2024年07月31日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実施施設 慶應義塾大学病院 〒160-8582東京都新宿区信濃町35

研究分担者:中山堯振 腎臓内分泌代謝内科

連絡先:03-5363-3796

FAX:03-3359-2745

E-mail: takashin.nakayama@keio.jp

なお、お電話でのご連絡は可能な限り診療時間中[月曜日～金曜日および第2・4・5週の土曜日(ただし祝日は除く)、午前8時40分から午後4時30分]をお願いいたします。

以上